

# 自己肯定感とことばの力を育てるために

1. 自己肯定感をもった子に育てたい
2. 社会で求められる力とは？
3. 生活言語から学習言語へ
4. 動詞を意識して増やしたい
5. 助詞を意識して会話しよう
6. 数量概念を育てよう

# 1. 自己肯定感をもった子に育てたい

**自己肯定感**とは・・・「自分は大切だ」「自分は価値ある存在だ」「自分は愛されている」という感覚

- ・自分を肯定的にみられる
  - ・物事を肯定的に受け止められる
  - ・自信があり、能動的
  - ・自然な意欲で行動に移せる
  - ・自分と同じように他者も尊重できる
  - ・人との違いを受け入れられる
  - ・感情が安定している
- 人を信頼しているので習うのも上手

- ・失敗を成長の糧にしていける
- ・他者の意見を聞くことができる
- ・人の評価に振り回されない
- ・人を評価しない
- ・人間関係が良好
- ・自分の考え(意見)を伝えられる
- ・問題解決能力が高い
- ・学ぶことが楽しい



自分の力を発揮しやすい状態

# (1) 自己肯定感はどんな力につながるか？

○自己肯定感の高い子ども

- ・気持ち安定している
- ・意欲・向上心がある
- ・失敗してもあきらめない(やればできる自信)

認知能力

読み書き能力、  
IQ、学力

(知)



非認知能力

意欲・積極性・自制心  
創造性・コミ能力・社会性

(情意)



●自己肯定感の低い子ども

- ・不安な状態
- ・変化を嫌う
- ・傷つきやすい
- ・挑戦できない(失敗をおそれる)
- ・人を信頼できない(指導を受け入れにくい)

※不安が先立ち自分の力を発揮できない

## (2) 私が出会った大学生たち～1995年の調査から

### 【事例1】中等度難聴・男子・普通校出身

『ちょっときこえにくい健聴者』と周りに思われるようひたすら努力してきた。周りに違和感を感じさせないように気を使ってきた。何かに失敗してきこえるふりをしている演技がばれて、きこえないことがわかってしまうことを恐れていた。何よりも自分が“きこえない”ということをも自分で認められなかった。

### 【事例2】高度難聴・女子・聾学校出身

聾学校から一歩外に出ると視線を強く感じ、聴覚障害者であることを知られたくない、隠さなければと思った。聾学校の友達と町を歩くときは、普段は手話を使っているのに手を動かすのをやめた。髪を長くし補聴器を見えないようにし、外でははずすことが多かった。

### (3) 大人になって自己肯定感をもつことは可能？

【大学3年女子・高度難聴・普通校出身】

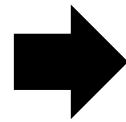
「高校まで聴覚障害者と一緒にいるのがいやでした。きこえないことを恥ずかしいと思っていたから。でもこのT技術大学に入って、聾者(聾学校出身者)と付き合うようになってだんだんと変わっていきました。聾者でも素敵な人がたくさんいるんだと思うようになったんです。手話を覚えて付き合いの幅も広がったと思います。そして、自分がきこえないということも素直に受け止められるようになりました。」(面接調査より)



# (4) 乳幼児期から自己肯定感を伸ばせるか？



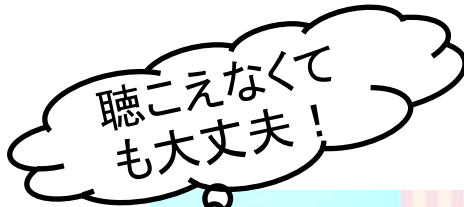
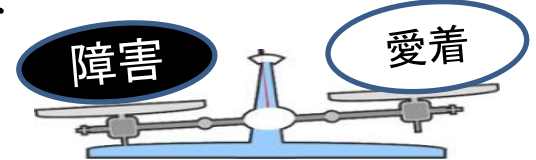
産科



耳鼻科「残念ながら  
きこえていません…」



可愛そう



マイナス思考からの出発



きこえない本人

&

手話

との出会い

自己肯定感をもった

## きこえない人 との出会い



### 【保護者の変化(例)】

ろうの手話の先生方は耳がきこえないだけで、とても魅力的な先生たちでした。先生たちの言葉はいつも私の心に突き刺さるものがありました。そんな先生たちと話しているうちに、きこえや音声といったことよりも、もっと深いところに目を向けるべきだと思うようになりました。（「手話で育つ豊かな世界」75頁）

はじめは『きこえる人に近づけることが大事』と思い、それができないと苦しかったけれど、聾の人との関わりの中で、きこえないということはどういうことなのかを理解できるようになり安心できるようになりました。それから子どもの見方、子どもとの関り方が変わりました。（保護者手記より）



手話

との出会い



早期にLanguage獲得

手話の獲得



早期に母子コミが成立



親/心理的不安からの解放



親子関係安定



子育ての楽しさ



親子の基本的信頼・絆



生活・あそびを一緒に楽しむ



子/自分は愛されている



子/意欲・外界への関心



このままの自分でいい  
自己肯定感



100%わかる

言葉によって世界を知る  
概念・認知・知識・





# わかること・楽しいことはことばを育てる ～「共有型」の関わりから育つものは？～

「幼児のリテラシー習得に及ぼす社会文化的要因の影響」  
(内田伸子ほか, 日本、韓国など3～5歳児3,000名対象に調査)



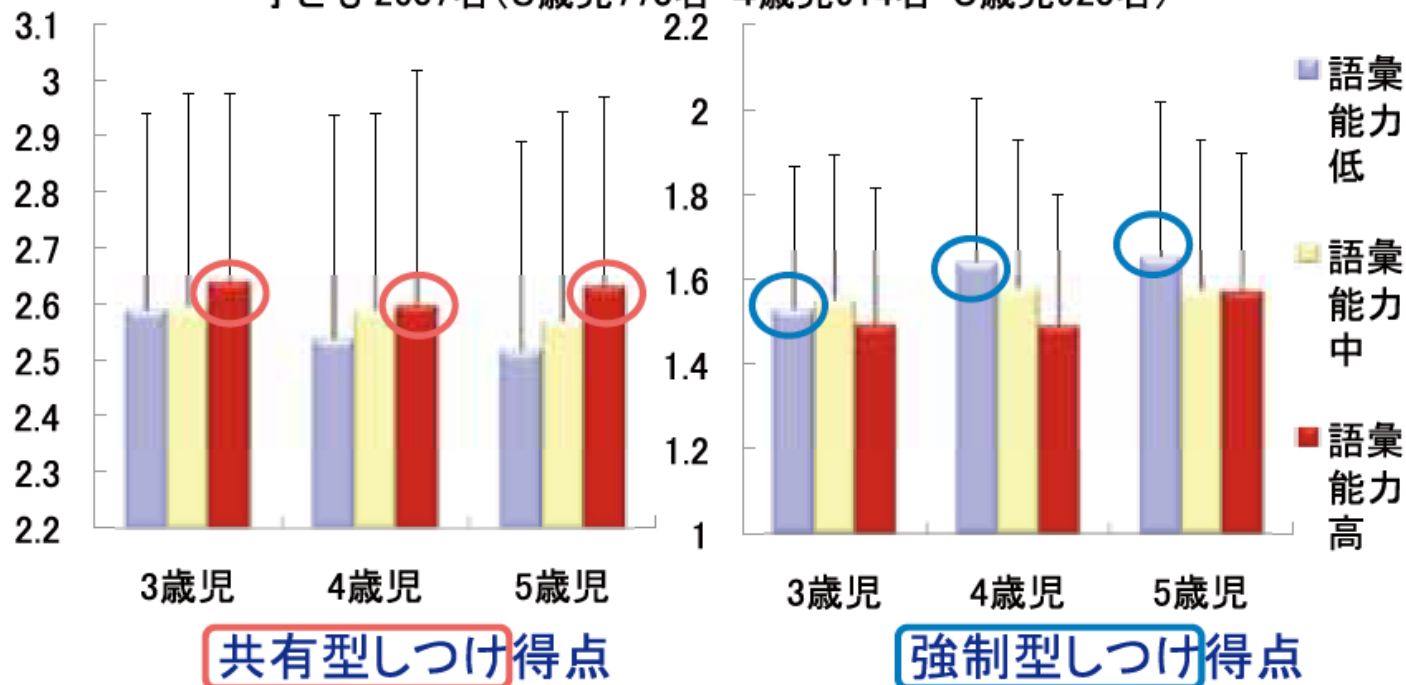
## Point

- ①子どもと一緒に生活やあそびを共有し、**楽しむ**。  
⇒自己肯定感⇒子どもの意欲・関心、挑戦する
- ②子どもに**考えさせ**、判断させる。 ⇒考える力、自主性
- ③子どもと一緒に**本**をよく読む。 ⇒読む力、豊かな知識

図2-1. しつけスタイルと語彙能力

★共有型しつけは語彙能力と正の相関がある！

子ども 2607名 (3歳児773名・4歳児914名・5歳児920名)



語彙得点が高い子どもは、共有型しつけを受けており、  
語彙得点が低い子どもは、強制的しつけを受けている。

# 子育て10か条～自己肯定感をもった子を育てるために！ ～50の文字を教えるより、100の「なんだろう？」を育てたい

- ①親子の間に対等な人間関係をつくること（「なるほどね」「さすがだね」）
- ②親は子どもの安全基地になること（「大丈夫、大丈夫～」「見てるよ～」）
- ③子どもに「勝ち負けのことば」を使わない（「ほらごらん、だから言ったでしょ！」）
- ④子どものことばや行動を共感的に受け止め、受け入れる  
（「いいね～」「さすがだね」「やったね」「すごいね！」「～と思っているんだね」）
- ⑤他児と比べず、その子が前より進歩したときに承認し、ほめる。
- ⑥禁止や命令ではなく、「～したら」と提案の形で対案を述べる。
- ⑦教師のように完璧な・詳細な・隙のない、説明や定義を述べ立てない。
- ⑧子ども自身に考える余地を残す働きかけをすること。（「どうすればいいかな？」）
- ⑨親は「待つ」「みきわめる」「急がない」「急がせない」で子どもがつまずいたときに支え、足場をかけ、子どもが一步踏み出せるよう脇から援ける。  
（「ゆっくりやっていいよ」「待ってるよ」「こうやってみたらどうだろう？」）
- ⑩子どもと共に暮らす幸せを味わおう。（「ありがとう！」「うれしい！」「幸せ！」）

## 2. 社会で求められる力とは？

—障害を説明できる力・他者の心を想像できる力—



### ①基礎学力・日本語力

「きちんとした文章が書けない。本人は事務職を希望しているがとても無理。」  
「本人の態度について、繰り返し筆談で注意しても意味が通じなくて困っている」

### ②社会常識・人間関係に関すること

「目上の人にも平気でため口を使う。」  
「敬語が使えずストレートな表現が多いため、仕事をしていく上で相手に失礼になることがある。」

### ③障害認識や自己開示に関すること

「自分の障害状況を客観的に理解できていない」  
「自分の障害について、まわりの人にきちんと説明できない。」

# 自分の障害を説明でき、人と関わる力の大切さ ～障害者を雇用する企業はさまざま～



障害者雇用促進法(2021)  
43. 5人以上・法定雇用率2.3%



「どのくらい聞こえますか？」  
「電話はできますか？」  
「何か配慮は必要ですか？」

Self-advocacy

(セルフ・アドボカシー)

自分の“障害”をどう認識・説明する？

# 他者の心・立場を想像できる力を育てたい

—「心の理論」課題から—

## 課題「ミニカーはどこ？」

### (1) 手順(指人形劇として実施)

- ① アンパンマンはミニカーで遊んだ後、水玉箱にしまい、遊びに行く。
- ② アンパンマンがいない時、バイキンマンが来て、ミニカーを取り出して遊び、その後、無地箱に入れて去っていく。
- ③ バイキンマンが去った後、アンパンマンが遊びから帰ってきて、しまっておいたミニカーを取り出そうとする。
- ④ アンパンマンは、水玉箱と無地箱のどちらを開けるか？



### (2) 観点

物理的事実(ミニカーは無地箱)と心理的事実(アンパンマンは水玉箱に入っていると思っている＝他者の心＝誤信念)が区別できるか？

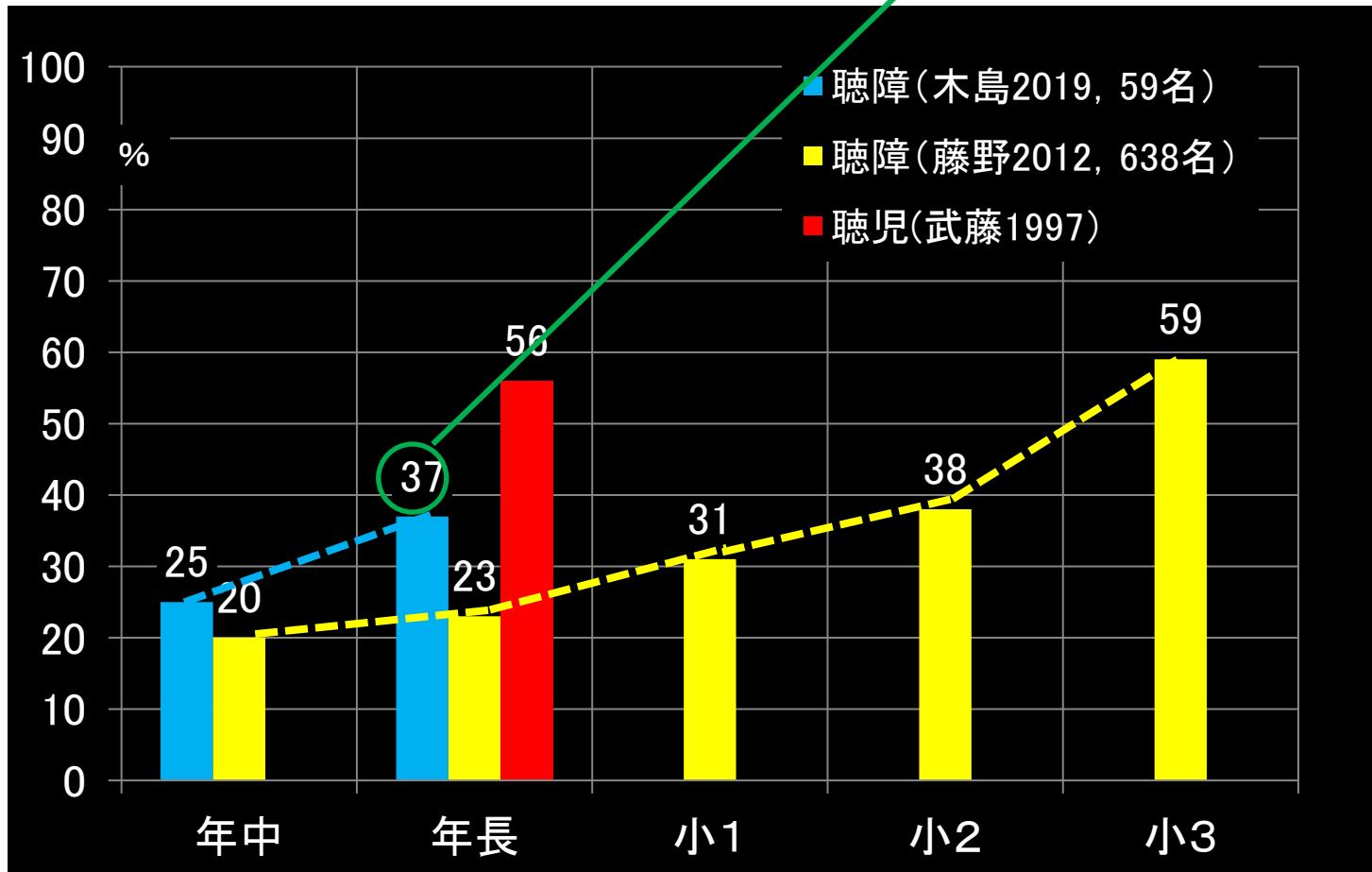
(この課題は「サリーとアン課題・ボールの問題」と同種)



# 他者の心を想像する難しさ～課題正答率(%)

見えない

\* 聾学校3校年長児(2017～19年・59名・木島)



自分を中心とした視点⇒視点を变えることの難しさ

家庭で

# 難聴児はどのような状態に置かれがちか？

一人だけ  
わかってい  
ない……

わーい！  
やったー！

わたし、イク  
ラと中トロ！

難聴児

お昼はお寿  
司とらない？

そうだね。  
いいね！  
ボーナス出  
たことだし…

\* 意図しないと、コミュニケーション関係が築きにくく、情報からも疎外されがちになる



教室で

# 難聴児はどのような状態に置かれがちか？



教師の質問に次々飛び出す発言、つぶやき…その発言の中に含まれる様々な考えや沢山の情報はほとんどとれない。

# 他者の心・立場を想像する力を育てるには？

◎他者の気持を想像したり、他者の立場で物事を考える力は、人間関係に不可欠

## ア. 家族で心置きなく思いを伝え合える場とそのためのコミ手段

100%わかる共通のコミ手段とコミの機会。  
自他の思いを伝え合う経験



## イ. 絵日記や手紙を書く

絵日記・自分や他者の思いについて考える  
手紙・受け取る相手の心を想像する



## ウ. 絵本の読み聞かせや再現あそび

登場人物の気持、再現あそびでの役割演技(他者視点)



## エ. 自分中心の世界→客観世界へ

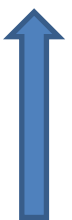
「自己対象化」(脱中心化)

## オ. 関係概念形成

モノ・人・コトの豊かな概念  
大小関係、位置関係など比較概念

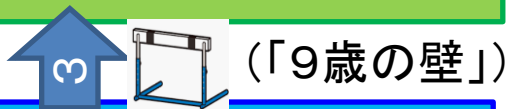
# 3. 生活言語から学習言語へ

学習言語



生活言語

・抽象的な思考ができる段階  
・言葉の本来の意味とは異なる意味をそこに見出せる



自分の経験を離れて一般的・客観的にことばの意味を理解できる段階



自分自身との関連でことばの意味を理解している段階

ことばとイメージの世界の拡大(基本的関係概念の形成)

ことば・概念が獲得され始めた段階

高学年

低学年

幼児期

【学習言語】(=書記言語)  
特徴: 第三者への伝達・文の読解・抽象的思考等に用いられる  
○非言語情報や相手に頼れない  
○実体のないものや目に見えない事でも言語・記号・数式( **symbol** )を使ってそれら进行操作したり伝えたりできる



“壁”の前の重要なポイント(4~9歳頃)  
\*「自分中心の世界」から「客観世界」への脱却。時間がかかる(「脱中心化」)。  
①シンボル ②概念形成 ③日本語

【生活言語】(=日常会話)  
特徴: 「今、ここ」での対話(日常会話)  
○表情・身振り・具体物など非言語情報による支えあり。  
○わからないことは相手がきいてくれる。  
⇒助詞など文法的誤りあっても伝わる。

# シンボルとは？～実物の代わりに使用するイメージ・記号

(Symbol: 象徴)

頭の中に思い浮かべて

(記憶イメージ) (写真・絵)



(見立て・ごっこ)

(紐)



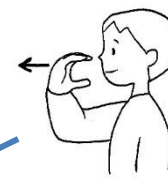
(ベビーカー)

実物・実体験

(積木)

イメージ・写真・積木・紐・ベビーカー等は  
実物(新幹線)の代理物＝シンボル

言語も実物の代理物(symbol)・・・公共性をもち、他者と共有できる。



【実体験】

「シンカンセン」

⇒ことば(symbol)が獲得されると、実物を離れて、ことばを使って頭の中でいろいろ思い描いたり、筋道を立てたり、分類したり、関係进行操作したりできるようになっていく⇒この力が学習言語の世界で使われる



# 概念とは？～「りんご」の概念って何？

店で買った経験、皮をむいて食べた経験、絵本で読んだ経験、ままごとで切って食べた経験・・・あらゆる活動を通してりんごの概念が形成される⇒**実体験の多さと言語化の豊かさ**に左右される

赤い

丸い

重い

サクサク



種がある

果物

甘い

りんごの概念



(絵本・写真カード、買物、様々な果物)

①そのモノの意味、②同じ性質をもったもの(カテゴリー)につけられた名前(言語)



(切り口・食べ方・味)

ものごとに丁寧に関わり会話することが概念・イメージを広げる

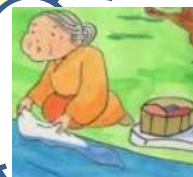
## 【事例A】(1歳半)「いちご」再現あそび

1歳半のAちゃん。手話で単語が少しずつ出てきています。一昨日、グループの時に皆でイチゴを食べ、今日は個別指導。T「Aちゃん、この前、イチゴジュース作ったね」と言うと、「イチゴ、イチゴ」と手話で応答するAちゃん。イチゴのへた取りやミキサーに入れる再現遊びを楽しみました。「カンパーイ!」「甘い!」と飲む真似が楽しくて、何度も何度も繰り返しました。ママの話では、一昨日、グループの帰りにスーパーに寄ってイチゴを買い、帰宅してからもう一回一緒に食べたそうです。Aちゃんは自分からへたを取っていたようで、グループで体験してからは自分で取ることを覚えたようです」とママが嬉しそうに話してくれました。(聾学校乳相記録より)



## 【事例B】ママと手洗い洗濯

Bは自分の服の汚れに気づき、「汚れている」と手話。「ママと一緒に洗おう」と言って二人で手洗いをした。洗濯機で汚れた服を洗うことは知っているが、手で洗う場面を見せる機会がなかった。「洗う」という手話表現と同じ動作で洗うことができることを知ってほしいと思った。びしょびしょになりながら、洗剤をつけて「ごしごし」とそれらしく言いながら楽しそうに洗っていた。Bが手で絞り、その後、洗濯機の脱水をかけて、「まだ濡れているね」「乾かそう！」と言って、一緒に干しに行った。  
(2歳1か月、『子どもとママと担当者3年5か月の軌跡』)



昔話『桃太郎』の話の中には、「おばあさんは川に洗濯に行きました」という一節があるが、このような体験を通して、水の冷たさや「ごしごし」という感覚と絵本のイメージとつながる。また、洗濯機との違いや、「汚れる」「洗う」「濡れる」「乾かす」「重い」「軽い」などの動詞や形容詞も実感を伴って学習する機会になる。



## 【事例C】「お風呂を沸かす」ってどう教える？

「お風呂に入ろう」「お風呂洗ってくるね」などは話していても、お風呂がお水からお湯になることなんかも説明しなきゃいけないと気づき、「お風呂をわかそう。今は水で冷たいからあったかくしなきゃ。スイッチ入れてこよう！」と言うと、大きくうなづき、**台所に行ってガス台のスイッチを触っている**。お風呂のスイッチは教えたことがないが、「お風呂」「煮る」という手話で「お風呂をわかす」を表現したので、「煮る」の手話を見てガス台へ行ったのだろう。家の中ではネタ切れだと思っていたけど、いろいろ話したり、教えたりすることは多いなあと感じたと同時に、断片的な情報から想像をふくらませて行動するCにも感心した。

(2歳8か月)

\* 生活の中で何気なく流れていく場面そこを丁寧にとりあげることが、概念を豊かにすることにつながる。



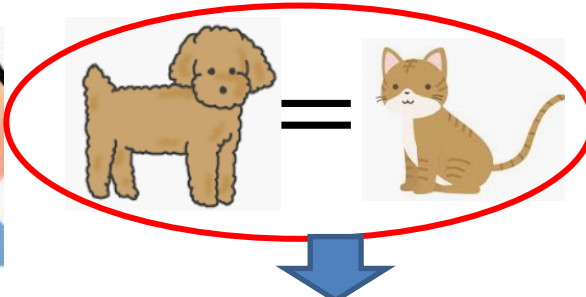


# ものの名前がわかるとは？ — 概念カテゴリーへの気づき —

1歳代

ことばの概念未獲得

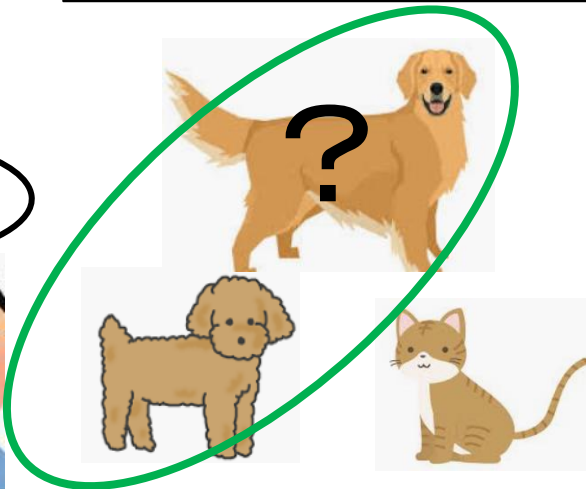
=ことばはラベリングとして理解



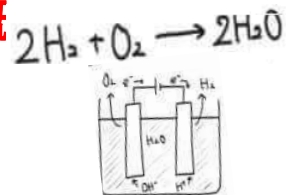
ことばの概念獲得

2歳代

複数のものを関係づけられる力の発達 (同じ=違う) ⇒  
モノ(ことば)はカテゴリーをもつことの発見 (「ものには  
名前がある」) ⇒ 高次のシンボル(代理物)の獲得



⇒ことばが獲得されると、**実物**を離れて、ことばを使って頭の中でいろいろ思い描いたり、分類したり、関係を考えたりできるようになっていく = **概念形成** ⇒ この力が学習言語の基礎を作る



## 2歳頃～複数のモノの関係に気づくようになる

### ①モノの概念はわかるが、複数のモノの関係づけはまだできない

①ともが醤油の瓶を持ち出し、中身をリビングの床に空けた。「とも！いけないよ！床がこんなに汚れちゃったよ！これは食べ物だから遊んではいけないよ！」と手話で伝えた。

②ともが木のボールを床に勢いよく投げて遊んでいた。「とも！これは硬いね。硬いボールを投げたら危ないよ。ころころって転がすよ。こっちのゴムボールは柔らかいね。こっちはポーンって投げてもいいよ。」（1歳9か月）

### ②「同じ」への気づき～関係概念の発達

TVを見ていたら、バスが出て、「あ！」と思い出して本がある棚を指して、「本！本！」と言っていたので、もしかして、乗り物の本かな？と思い出して渡したら、開いて「あ！」と声を出してました。「あ、これバスと同じだね。バスだよ～」と会話しました。（1歳6か月）

# 関係を考える力の育ち～複数のことを同時に処理できる力の育ち

「帽子をかぶって靴を履く」「食事が終わったら歯を磨く」など、①二つのことを記憶して実行できる、②一連の動作を見通しをもって実行する力・・・スクリプト(=「台本」の意味)

## 【例】ふり遊び・見立て遊びの発達

①「りんごのおもちゃを口に入れる真似をする(1歳) \* ふり遊び



生活習慣の確立はとても大事

二語文が出るために必要

②「切るもの(包丁)と切られるもの(りんご)との関係を理解して切る真似をする(1歳半～2歳)



2つの行為を関連付けて1つの行為としている。

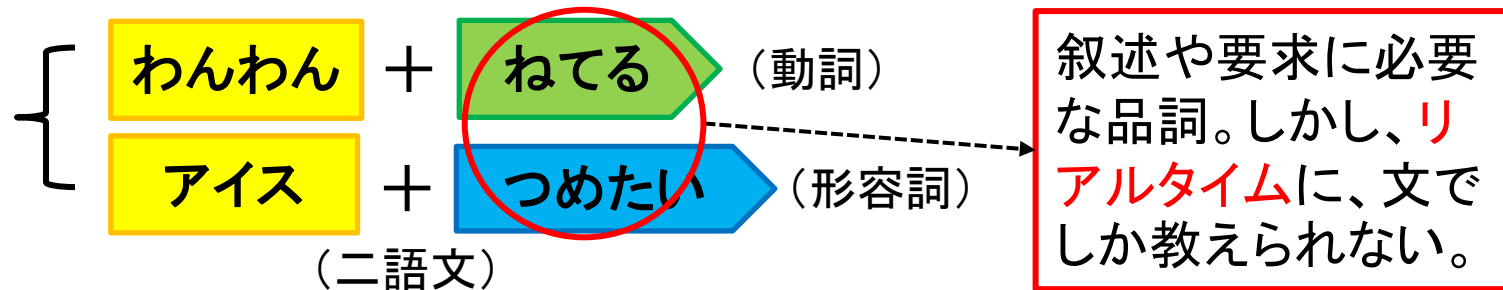
③切ったりんごを皿に入れて出す(2歳半) \* 見立て遊び



# 二語文が出るためには動詞・形容詞が必要

## 語彙の増加

・とくに文の述部になる動詞・形容詞



## 【事例】1歳8カ月 「家、壊れちゃった」(2語文の生成)

布団の上で家を作るのがお気に入り。パパに「家」(手話)と表現して寝室を指さしていた。「寝室で家を作って」と言っていたようだ。タオルケットや毛布で家を作って「家だね。」という「家！」と嬉しそうに家の中で遊ぶ。タオルケットが崩れてしまった時の悲しそうな顔。「家が崩れたね」と表現してあげると「家、壊れた」「家、作って」と表現できるようになった。

⇒「壊れる・作る」を理解(即時マッピング)し、自分から二語文で表現。このように、「今、ここ」で実際の経験を通して教えるのがコツ。



# 二語文の練習をしよう！

一語文でなく、二語文で話させよう！（拡充模倣）



水！

（単語だけ）



水を飲みたいの？



うん！



水をちょうだい



水がちょうだい

（助詞の誤り）



水  ちょうだい



水  ちょうだい



はい、お水をどうぞ

# 対概念の育ち～具体的対概念→抽象的対概念へ

①お父さん熊(人形)と赤ちゃん熊比較(1歳半)→②お父さん○と赤ちゃん○比較(2歳半)→③大きい図形○と小さい○(3歳) (まる)

## 【事例A児】1歳8カ月 「汚いーきれい」

朝食食べたヨーグルトがこぼれたままになっているのを見て、眉間にしわを寄せて「汚い」(手話)。その後、ガーゼを自分で見つけ、持って、ふいて「きれい」(手話)。とても、満足そうな顔をした。

## 【事例B児】2歳3か月 「長いー短い」「大きい・小さい」

「トッポ」(お菓子)を使って、手話で「Bちゃん、これ長～いね」。折れているトッポを見つけて「Bちゃん、これ短～いね。」と教えながら、長いトッポを渡したら、Bは「ママ、これ、なが～い」(手話)と言って食べました。次に、短いトッポを渡したら、「ママ、これ、みじか～い」(手話)と楽しそうに食べました。大きい・小さいなどの概念もわかってきました。



### ③見立てる力(比喩)の発達



生ごみを白いビニール袋に入れていると、ともがやってきて「**サンタさん**」と手話。M「ん？ あ、これね」と言ってひよいとかついで歩くと、「サンタさん、サンタさん」と言って大喜び。そこで「この中に**プレゼント**あるかなあ？ 見てみる？」とも「ウン」「はい、どうぞ」と開けると、とも「**ゴミ!**」と手話して大笑い。「プレゼントないね。ゴミだったね」。G「**もう一回**」。そこでまたかついでくる返し、二人で大笑いする。そのあと一緒にゴミを出しに行った。(2歳1か月)

「さあ干すぞ！」とベランダでTシャツをパンパンすると粉々ティッシュが舞う。「あ～あ、やっちゃった」と愕然としていると、それを見ていたHが「**雪みたい!**」と手話。「あっ、本当ね。Bちゃん、雪みたいだ～」。がっかりモードだったけれど、このことばに、「え～い！ 掃除は後回し!」。ベランダ中に洗濯物の雪を降らせ、二人であそびました。(2歳6か月)



# カテゴリーと概念が身につくと...

⇒比較・分類・記憶・推論する力が高まる  
抽象語彙が獲得できる



初めて見た！ものでも

果物



①グループごとにまとめておくことで、新しいモノに出会っても瞬時にそれが何か予想できる。

農産物

(上位概念  
・抽象概念)

穀物



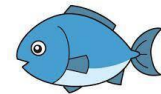
野菜



②グループごとに概念化することで、一つ一つ別々に記憶する必要がなくなる。

共通点

バラバラ





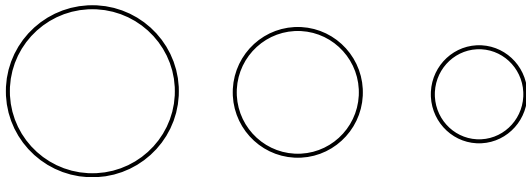
# 比較概念育っていますか？～子どもにきいてみよう

年少・年中

「太田ステージ」より

## Q1. ○の大きさの比較

・・・比較の概念は育っている？（4/4正答で通過）



（紙に書いて準備）

【課題1】①「（右の○を隠して）どっちが大きい？」  
②「（左の○を隠して）どっちが大きい？」

【課題2】①「（左の○を隠して）どっちが小さい？」  
②「（右の○を隠して）どっちが小さい？」

## Q2. 目の前にはないモノの比較

・・・頭に絵は浮かぶ？（4/6正答で通過）

- ①「イスと鉛筆、どっちが大きい？」
- ②「車とコップ、どっちが小さい？」
- ③「バスと自転車、どっちが小さい？」
- ④「ミカンと帽子、どっちが大きい？」
- ⑤「冷蔵庫と家、どっちが大きい？」
- ⑥「りんごとテレビ、どっちが小さい？」

（子どもが知っているモノでよい）

一つ一つのモノの概念（イメージ）を  
しっかりもっていることが必要

# ☆類概念があるか訊いてみよう(質問応答関係検査より)

Q1 果物にはどんなものがある？

(例)



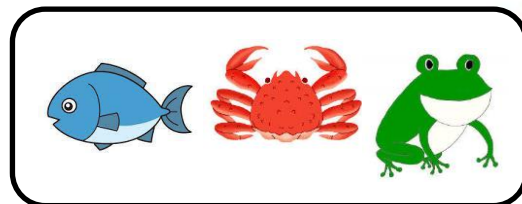
?

(類概念)



Q2 水の中にある生き物は？

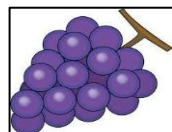
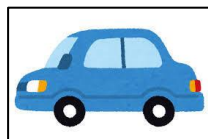
?



聴児3歳・計2～3回答  
聴児4歳・計6～7回答  
聴児5歳・計8～9回答

【補足の質問】 絵カードを4～5枚準備して尋ねる

「動物はどれ？」「乗り物は？」「果物は？」「野菜は？」「飲み物は？」



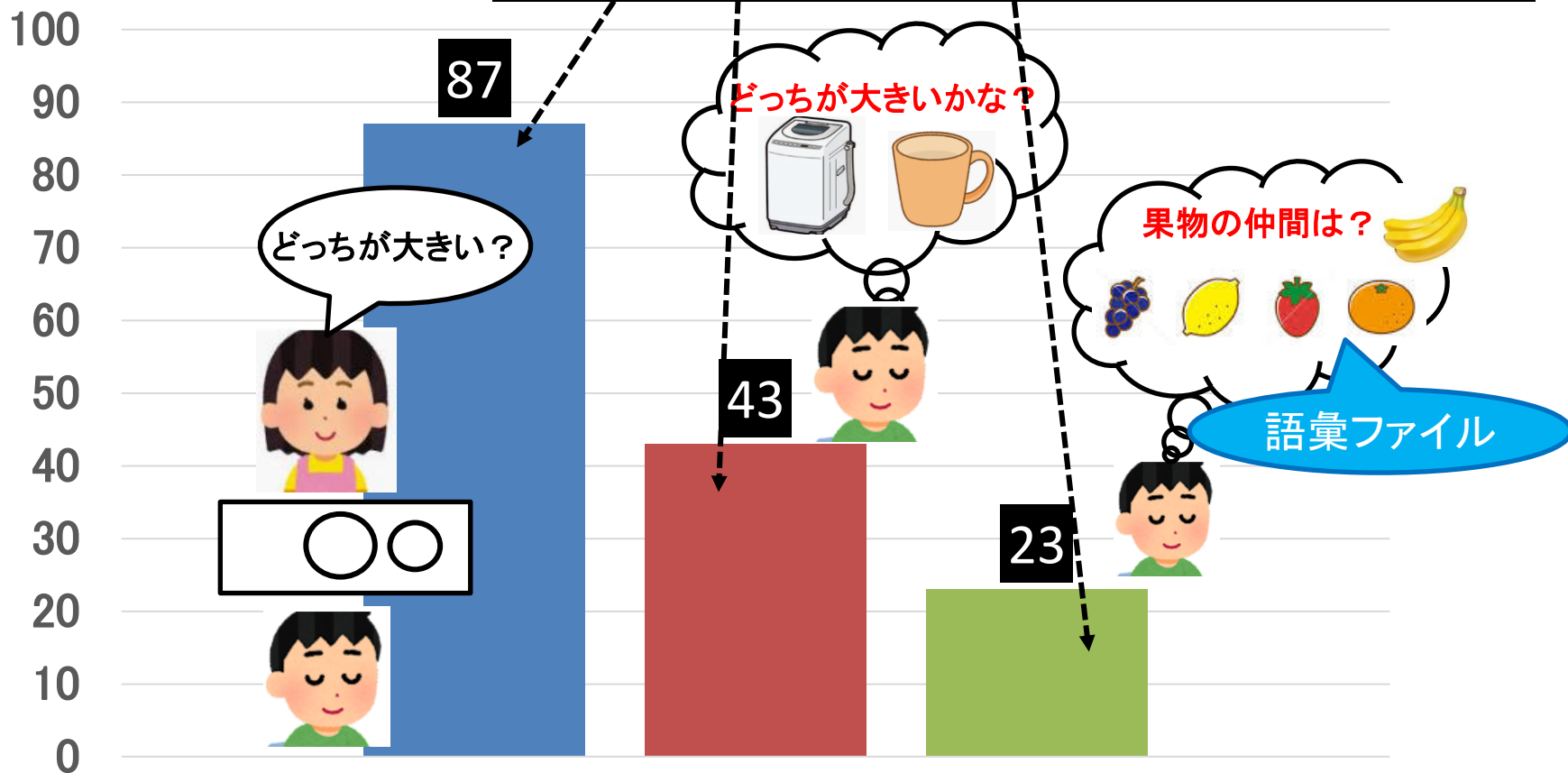
# ①頭の中にイメージを描き、それらと比較できる？

象徴機能

概念の豊かさ

達成度 (%)

## ②概念カテゴリーは作られている？



どっちが大きい？

どっちが大きいかな？

果物の仲間は？

語彙ファイル

年少・年中児 (30名)

■ ○の大きさ比較 ■ イメージでのモノの大きさ比較 ■ 類概念 (カテゴリー)

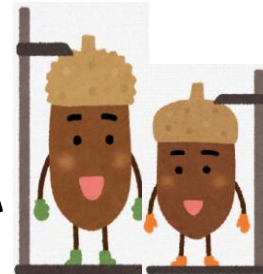
# 関係概念の育ちに弱さがある場合の対応

## Q1.丸(○)の大きさの比較⇒「どっちが大きい・小さい？」

(太田ステージⅢ-2)



「くらべる」ということ自体が理解できるよう、まず①「同じ・違う」ものさがしを沢山する(色・形・材質など)⇒②やりとりの中で、モノを比べる体験をする(大小、長短、太細、広狭、きれい・汚い、早い・遅い、よい・悪い…)



③複数の物事を関係づける体験をさせる(「○○が終わったら、次は…」)

## Q2.目の前にないものの大きさ(頭の中のイメージ)を尋ねる

(太田ステージⅢ-2)



モノの概念が頭の中に浮かばない(視覚シンボルが弱い)ので、日々の生活の中で実物に触れ、そのモノの概念を豊かにする。

# 「類概念」がまだの子への支援・指導①

子どもと  
いっしょに

ことは絵じてんを作ろう！

幼児が見たり経験したりしたものの絵や写真を集め、カテゴリーごとのページに分けて貼った本。子どもと一緒に作るのが最も効果的。



野菜



台所用品



色シリーズ

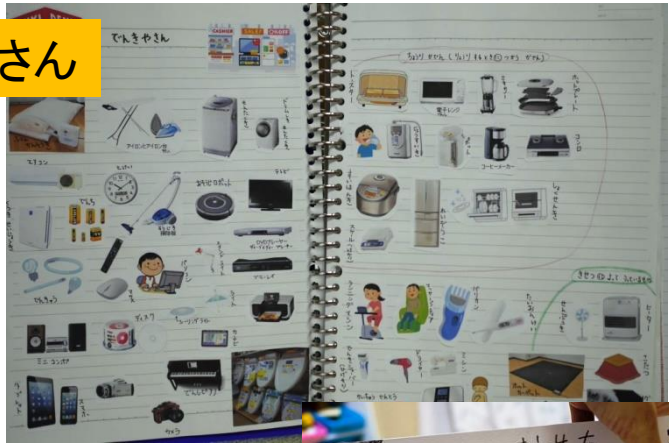


# 効果的な活動 「ことば絵じてん」づくり

子どもと  
いっしょに

子どもが見たり、したり  
興味のあること(経験)  
から作るのがコツ

でんきやさん



反対ことば

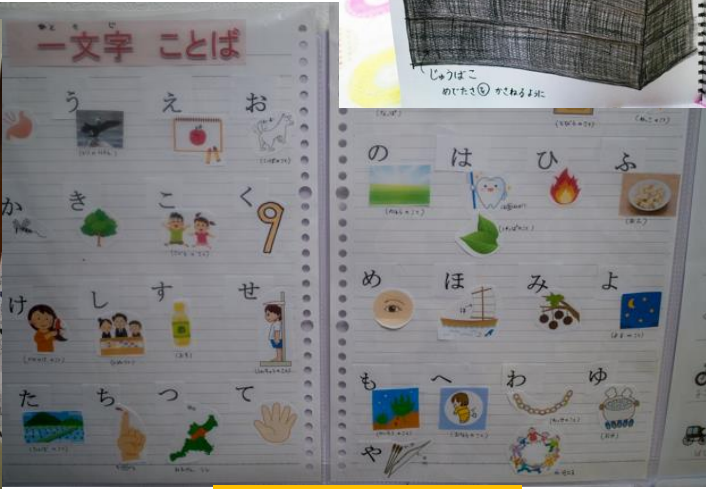
おせち料理  
取り外し可



どうろひょうしき



四季(襖ポスター)



一文字ことば

# 写真カードから絵日記・ことば絵じてんへ

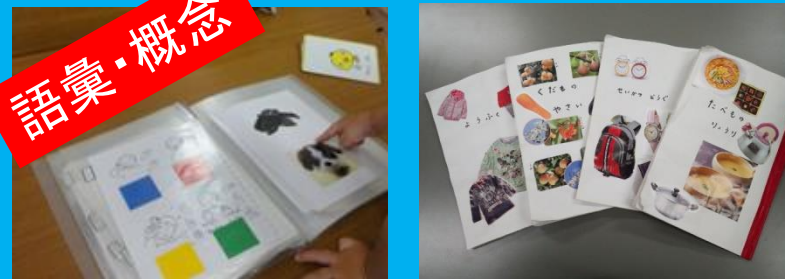
## 写真カード(9・10か月～)



経験したことを記憶できる(7、8か月～)  
ようになったら「ことば」の代わりに使う

## ことば絵じてん(2・3歳～)

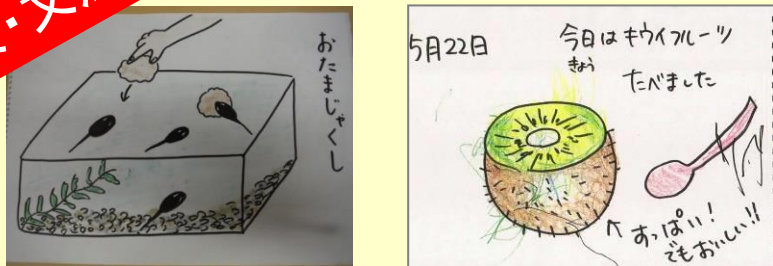
語彙・概念



ものには名前があることがわかるようになったらことばの仲間集めをする

## 絵日記(2・3歳～)

構文・文法



経験したことを話し合い、文にまとめていく⇒将来の書記日本語へ

## ★それぞれの役割の違い

- ①写真カードは、まだことばがない時からことばの代理としてコミに使用。
- ②ことば絵じてんは、多様な観点で同じものを集める(分類・仲間集め)ことで概念の基礎を育てる。
- ③絵日記は、体験を文字化して記録し、書きことばの基礎を育てる。

\*年齢は目安です



# 「ことば絵じてん」の上手な使い方

\* 幼児は自分の経験を離れて思考できない。だから..

## 【事例】「キノコ」(2:6)

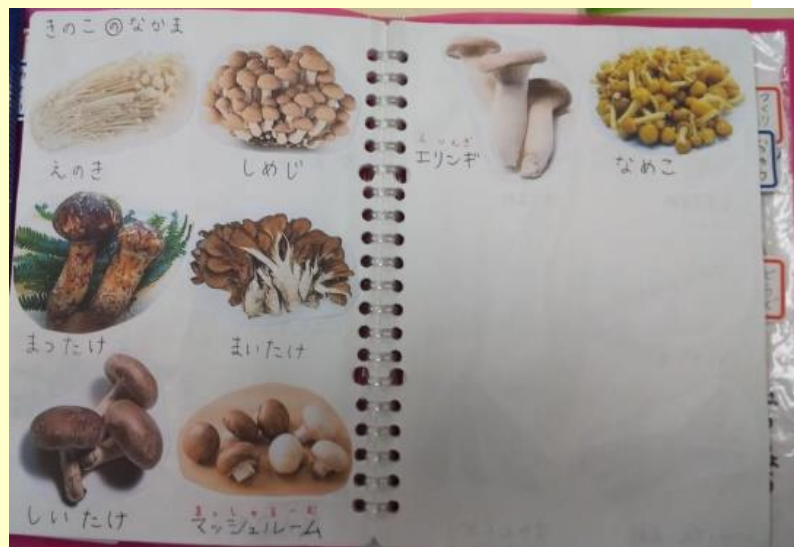
生活の中で、具体的に子どもと使う！

きのこの頁を作った。この頁を見せて「今からスーパーにキノコを買いに行こう。でもみんなそれぞれ名前が違うよ。これは、シメジ、これはエノキ、これはマイタケ。探しに行こう」。

スーパーでキノコ売り場を見つけ、シメジ、エノキ、マイタケを買った。帰宅して一緒に料理した。Tは、エノキの傘を一つずつ取り、「小さいね」と言いながらざるに入れた。

いつもはキノコはあまり食べないが、「これ、ぼくが料理した」と言って進んで食べた。「T君、今食べたキノコの名前知ってる？」ときくと、「エノキ、キノコの仲間」と手話した。

次は、シイタケやなめこのぬるぬるも体験してみよう。





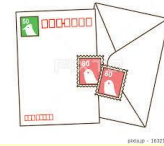
## 【事例】「年末大掃除」(3:2)

生活の中ですること(コト)  
についても概念の整理

年末の大掃除をみんなで一緒にやった。ことば絵じてんに「掃除」というページがあるのでその頁をひらいて「どれをやりたい？」ときいてみたら、窓ふきを選んだ。絵の通りに三角巾とエプロンをして掃除を開始。パパにも手伝ってもらい、パパ「わあ、真っ黒だね」などと言いながら窓の内側と外側を一生懸命拭いていた。バケツに水を貯め、雑巾が汚れたら自分で洗って絞るのにも挑戦。ママ「Fちゃん、どう？ 雑巾見せて？わーっ、黒いね。汚れたね」F「黒い！ 汚れてる！ 洗う！」と自分も濡れながら楽しそうにやっていた。次は、はたきをかけたがる。絵を見てF「マスクちょうだい」とマスクをつけてパタパタとはたきをかけていた」



## 【事例C】「ゆうびん」(3:1)



先日はがきを書いてポストに投函した。出かけた帰りにM「はがきを買いに行こう。でもどこにあるかなあ？ママ忘れちゃった。辞典も持ってきてないし・・・」と言うと、「ん？」と 考えている。M「パン屋さんに売っているかなあ？」C「・・・」。とにかく探しながら帰ることにして、とりあえずパン屋さんをのぞいてみた。探したがない。M「じゃあ、となりの八百屋さん？」 探したがそこにもない。そのうちCがはっと思い出した。C「はがきは郵便局にあるよ」というので、郵便局に行き、無事、購入できた。帰ってから、もう一度、ことば絵じてんの「ゆうびん」の頁を開いて一緒に見ながら、はがきを買ったこと、切手も売っていて、切手は手紙に貼ることなどを話した。



## 【事例】「ことば絵じてんに取り組んで」(年中・CI装用)

### ①取り組んだきっかけ 「絵画語彙検査」3歳1か月(5:1時)

年中の秋、子どもに上位概念を尋ねてみました。一つ一つの果物や野菜の名前は結構知っているのに、分類ができていませんでした。単語を知っているから、自然に分かっているものと思い込んでいたことに気がつきました。子どもの頭の中では、単語があちこちに散らかってるんだなと思いました。そこで、「ことば絵じてん」で頭の中に引き出しを作り、整理しようと考えて取り組み始めました。

### ②半年間、取り組んでみて 「同検査」5歳6か月(5:8時)

ことば絵じてんの効果は予想以上でした。こどもと一緒に私も学んでいて、大変なこともあるけれど、楽しい時間を過ごせています。

まとめることって、こんなに効果があるんだ、と毎回驚きます。絵辞典を作れば作るだけ、知識に直結していく感じがします。いまは、物の名前の絵辞典作りより、**言葉集めの絵辞典作り**になってきました。

# シンボル機能&概念形成～年長頃のチェックポイント

学習言語・・・自分の経験からモノ(ことば)を切り離し対象化して、ことばで意味・概念を説明したり比較できる力

①「単語」(WISCIV)

\* 数値化できる利点あり

\* 年長頃

(例) Q冷蔵庫ってどんなもの？

冷たい

氷が作れる

食べ物を入れる



大きな箱

腐らない

アイス入ってる

★よくある子どもの実態

- ①そのモノの使い方は知っているが(生活概念)、ことば(手話)で説明ができない(説明した経験がない)。
- ②連想的に関連したことばは思いついたり、手話で説明できても、日本語にできない。(日本語語彙・文法・構文力の不足)

## ②「類似」(WISCIV)

\* 数値化できる利点あり



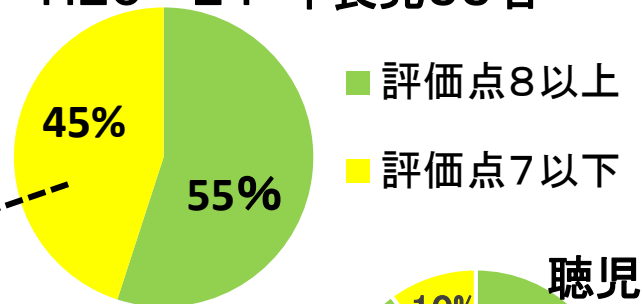
経験からモノ(ことば)を切り離して対象化し、共通概念や上位・下位概念を抽出可



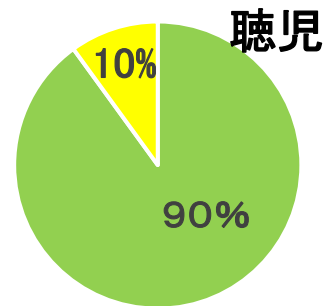
### ★よくある子どもの実態

【例】 ①自分の経験から離れてまだモノを対象化して比較できない。  
②頭の中にモノはイメージできるが、説明のことばが浮かばない。

評価点7以下の幼児の割合  
H20~24・年長児33名



★語と語の関係を考えたり、語を操作する「メタ言語意識」が不十分な子たち  
★語彙がバラバラで「語彙辞書(Mental lexicon)」が未構築⇒抽象語彙の習得困難・記憶負担大



# 「単語」が苦手な子への指導①

# 連想ゲーム

## 「連想ゲーム」(サテライト型)

### ① 思いつくことを順に言う

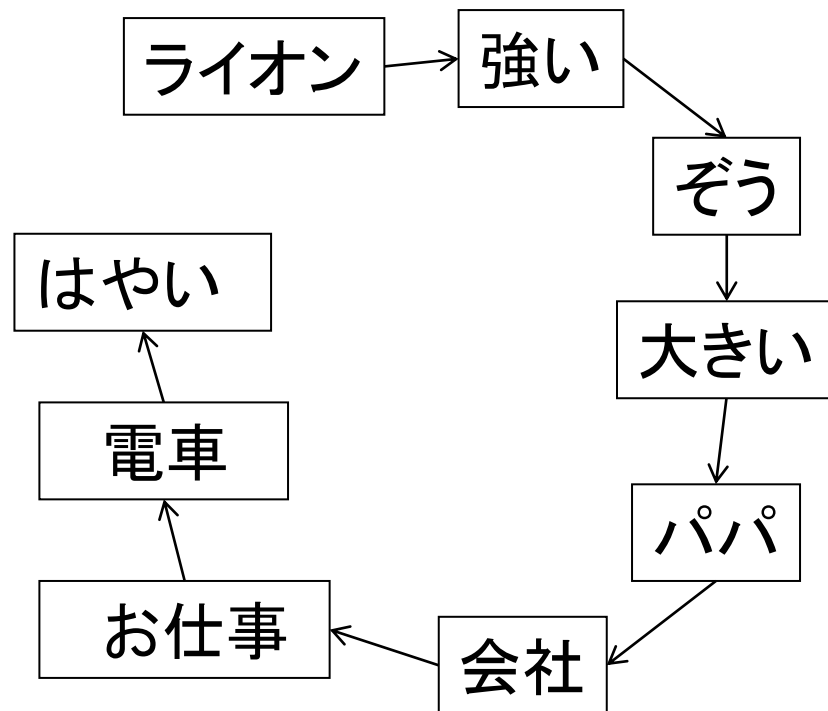


② 出たことばをつなぐと「バナナ」の説明になる

③ まわりのことばから真ん中のことばを連想するのが「などなど」

## 「マジカルバナナ」(芋づる型)

### ① 前のことばから思いつくことを言う



② 連想する力(豊かにイメージする)を伸ばす



# 「単語」が苦手な子への指導②

## なぞなぞ



### ①そのものについて説明するタイプ

(身の回りの物事、子どもが知っているもの)

☆最初は、あまり難しく考えない。身のまわりのモノから、テキストに作るのがコツ

びょうきの とき のむもの なあに？	あそぶもの なあに？	まわして あそぶもの なあに？	つめたい おかし なあに？
-----------------------------	---------------	-----------------------	---------------------

### ②音韻を使ったタイプのなぞなぞ

- ★「さいふ」の中にいる動物は？
- ★「せかい」の真ん中にある虫は？
- ★「ゆうごはん」はなんじ？⇒
- ★ソラの上にあるものは？

あなたの たんじょうびは いつ？	くらくなったら つけるもの なあに？	そとで あそぶとき はくもの なあに？
------------------------	--------------------------	------------------------------

### ③比喩を使ったタイプのなぞなぞ

- ☆頭から水を飲んで、お尻で熱くして、口からお湯を出すもの。
- ☆赤い服を着て、一本足で立っていつも紙ばかり食べている。







そらをとぶ のりもの なあに？	だいどころに あるもの なあに？	そうじのと つかうもの なあに？
-----------------------	------------------------	------------------------

# 「類似」が苦手な子への支援・指導③







## 仲間はずれはどれ？

N-5 なかまはずれはどれ？（練習2）

なかまはずれの  
わけ(りゆう)も いてね

					
---	---	---	---	---	---

どうして？

					
---	---	---	---	---	---

N-9 どっちにも はいるのは？（1）

したの えを  
きって はってね

どれが入る？



<http://www.nanchosien.com>

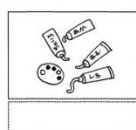
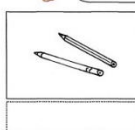
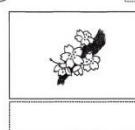
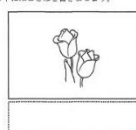
ことばの 카테고리について学べる  
難聴児支援教材研究会, 1200円

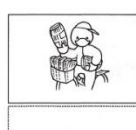



## 同じ所・違う所は？

N-7 どこがている？（1）

ちがうところ、おなじ  
ところを いてね

□の中にはことばを書きましょう。

			
おなじところ	ちがうところ	おなじところ	ちがうところ

			
おなじところ	ちがうところ	おなじところ	ちがうところ

## 【教材例】ビンゴゲーム～上位・下位概念を「ことば」で

- ①「虫」や「動物」(上位概念)等をテーマに、知っている虫や動物の名前(下位概念)を文字で書く
- ②虫の名前をたくさん書いた別のカードの山から1枚ずつ引いて、先に一列(縦横斜め)に並んだら勝ち。

かぶと むし	てんと うむし	あり
せみ	くわが たむし	かまき り
ばった	あげは ちょう	みつば ち

いぬ	ねこ	さる	うし
とら	さい	ぞう	らくた
らい おん	たぬ き	うさぎ	かば
ごり ら	ぱん だ	しろく ま	ひぐ ま

\* 白いもの、とがったもの、春の食べ物、冬の物、お母さんの仕事、天気などいろいろなテーマでやる。

# 思考力を伸ばす会話の工夫

この質問に答えられますか？

Q1. もし、コップのジュースをこぼしたらどうする？

Q2. もし、家が火事になったらどうする？

Q3. どうして、出かけるときに鍵をかけるの？

Q4. どうして、食べ物を冷蔵庫に入れるの？



日常生活の中でのさまざまな知識をもっており(生活概念)、それらを使って問題の解決ができたり、人にも説明できる。

①「もし、～」(仮定)の質問に答えられるのは3歳代～

②「なぜ、～」(原因・理由)の質問に答えられるのは4歳代～

論理的に思考し説明する力、問題解決する力、他者への想像力、多様な言い方等、役立つ会話の仕方

①子どもに考えさせ、ことばで説明する習慣をつける

「それは例えばどういうことなの?」「どうしてそう思う?」

②疑問詞(5W1H)を使う

例 「いつのこと?」「どこで?」「どうして?」「誰が?誰に?誰と?」「何を?何が?何に?」「どうやって?」

③時間経過・因果関係をあらわすことばを使う

例 「はじめに」「次に」「最後に」「・・・だから」「～の理由は・・・」

④接続詞や副詞(オノマトペ)・比喻を使って話す

例 「～だから」「～ので」(順接)、「～だけれど」「でも」(逆接)  
「まるで～みたい」「例えば～」「しとすと、ぐんぐん、ギャーギャー」

## ⑤主述の整った文で話す(とくに助詞)

例 「やったの？」 →「学校の宿題は、もうやったの？」

## ⑥子どもと一緒に近所やテレビ等の話題を話し合う

例 「九州地方に特別警戒警報が発令されています」

## ⑦他者の考えを想像させる

パパはどう考えると思う？

## ⑧家族の話がリアルタイムにわかるように、家族の中でのコミ手段に配慮し、情報を常に言語化する

## ⑨位置、比較、授受、受身、使役の表現、かずなど関係をあらわす表現を意識して使う

例 「～の前・うしろ・上・中・下」「～より～のほうが」「あげる・もらう・くれる」「～れる・られる」「～させる・させられる」「あわせる、ぜんぶで、たす、のこりは、とる、へる、わける」



# 4. 動詞を意識して増やしたい!

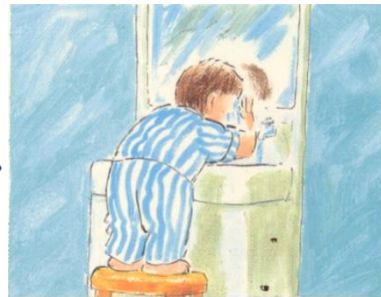
文の文末(述部)には動詞が圧倒的に多い

I	雨	が	降りました	(自動詞)
II	母	が	弁当	を 作りました
III	兄	が	学校	に 行きました
IV	姉	が	父	と ケンカしました

\*名詞は上記 I のみ、形容詞は、I 及び III のみ使用可

# ①教材「一日の生活すごろく」・・・動詞をみつけよう！

子ども本人の写真で作ると興味をもつ



布団を〇〇〇



朝だよ  
「〇〇〇〇！」

顔を〇〇〇

〇〇〇〇



かける	いく	かぶる	たべる	すう	あたためる	きる	ひっぱる	あげる	みがく	おきる	おきる
おきる	あらう	はく	のむ	ぬる	すわる	むく	ならべる	はく	とく		
ほる	ほす	のる	かたつける	かける	のむ	やく	はこぶ	とる	きる		



# まず動詞を覚えよう！

お風呂に貼って覚えよう！

王様ゲーム

たのしいゆびもじ (自分指文字・動詞編)

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ

全国早期支援研究協議会発行 (不許複製)

お風呂に貼って、指文字や手話で順番に表現する。



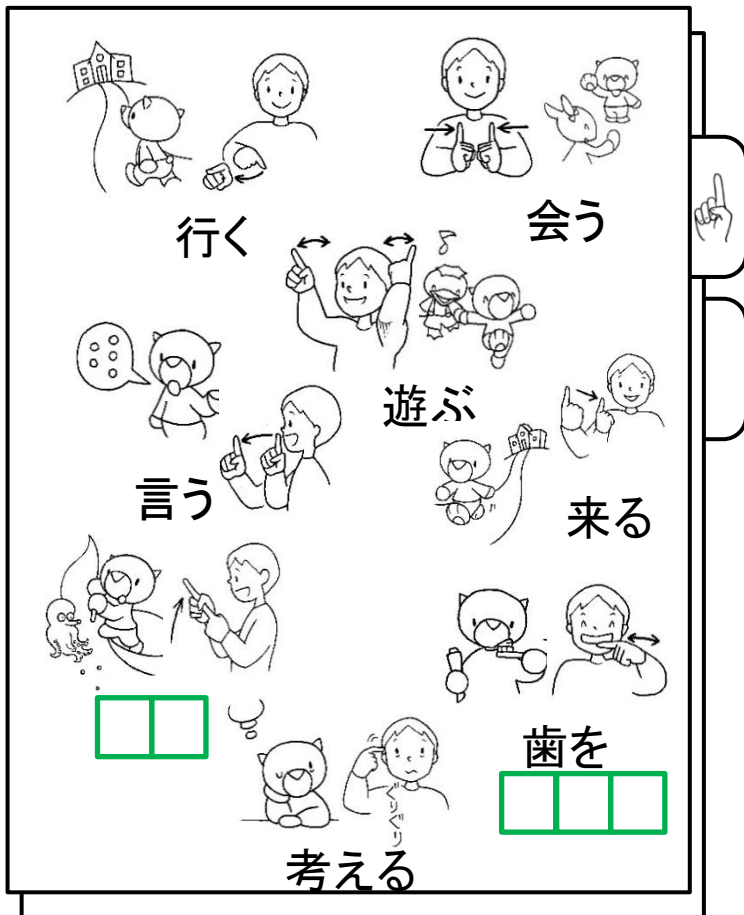
- ①家来「王様、王様、なんですか？」
- ②王様(カードを一枚とって)「これじゃ！」  
カードを1枚めくって家来に見せる。
- ③カードが「わらう」であれば、家来は笑うまねをする。
- ④ルールを決めて役割を交替する。

# いろいろな括り(カテゴリー)であそびを考えよう

## 反対語カードで遊ぼう



を使う動詞を集めよう



- ① 絵カードを裏にして山積みし、床に5枚だけ表にしておく。
- ② 山から1枚めくり、反対語があればもらい、もう1回めくる。反対語がなければカードを床に表に置いて次の人と交代する。



# 「動詞絵あわせ」

【ねらい】（年少～年長）

絵に合う動詞（日本語44語）を覚える。

【道具】

★動作のえあわせカード  
（市販品・550円、銀鳥産業）

【やり方】

- ①カードを（44語×2枚＝88枚）裏にして配る。
- ②2枚1組のペアカードがあったら、その動詞を言って（音声・指文字など）場に出す。
- ③じゃんけんで勝った人から時計回りに隣の人  
のカードを引き、ペアのカードを②同様に  
する。
- ④ペアカードが早くなった人が勝ち。



★反対ことばカード（44語）を  
使っても同様に遊べる。  
（859円、銀鳥産業）



# 「手話を見て動詞(日本語)を言おう！」

【ねらい】 年中～年長向き

①手話(動詞)と日本語(動詞)のマッチング。

【道具】

★指文字絵カード(動詞編)をカードにしたもの



おまけ

【やり方】

- ①カードを裏にして山積みする。
- ②山から1枚カードを引いて、文字を読んで相手にお題を出す(まだ相手にはカードは見せない)。写真の例では「とる」。
- ③お題を出された相手は、指文字で提示された「とる」を見て、手話に換えて応えます(盗る、取る、撮る・・・色々ありますがどれもOK)。
- ④正しく手話ができたらそのカードは相手に渡します。できなかつたら床の上に置き、次のお題ができた人がそのカードももらいます。
- ⑤たくさんカードをとった方が勝ち。
- ⑥おまけのゲームとして、自分がとったカードでことば(単語)を作ります。いくつできるかな？



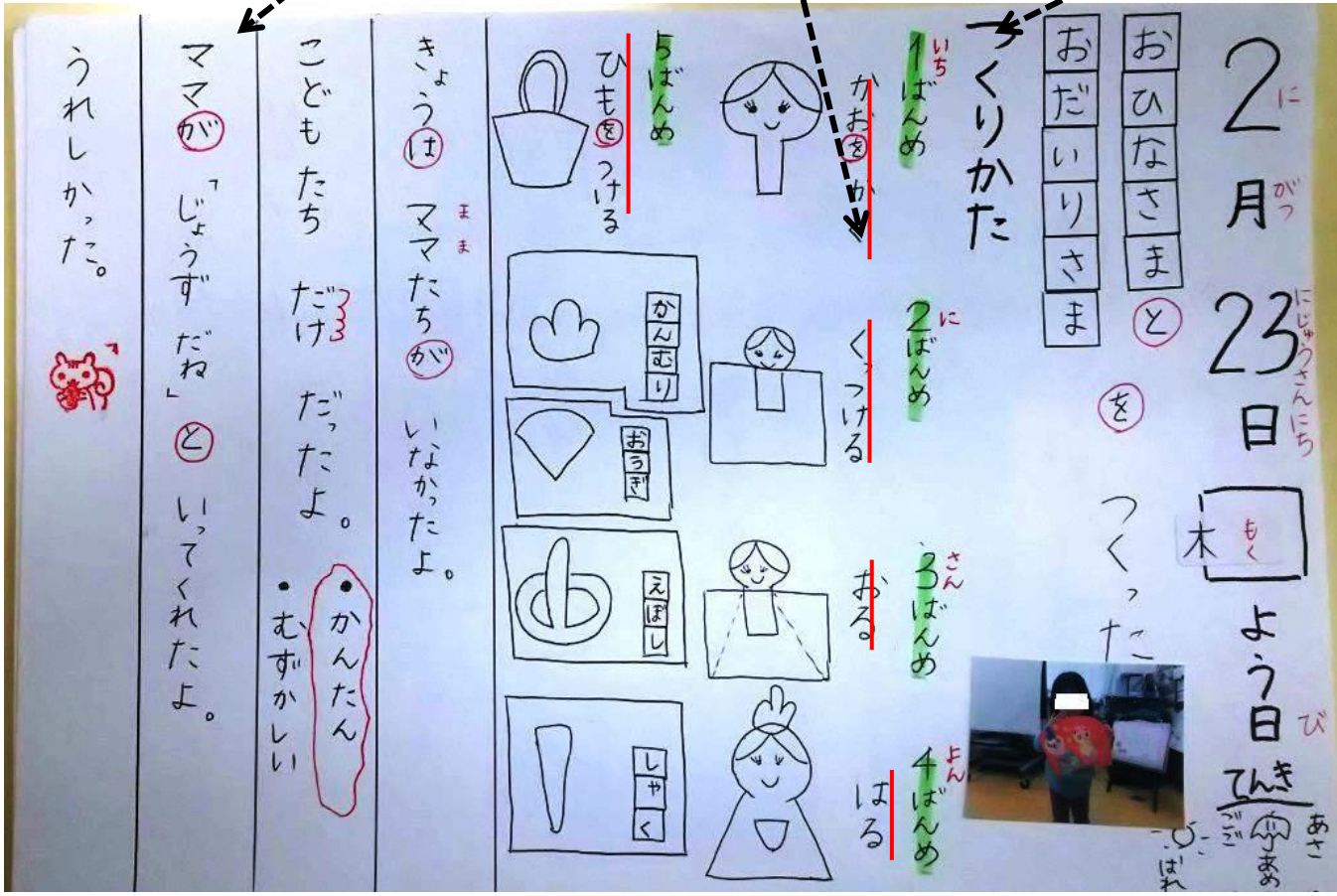
# 絵日記の中で動詞を意識化

## 年少児の日記

活動の感想(子ども)

動詞を意識

活動の手順







# 年長児の日記

(年長児)

動詞の横に「基本形」を書いて意識化

8月3日 水ようび

あいにいききました。

たちかわえきでまちあわせしたよ。

えいがをみいきました。

スインディングドリリーをみる。

ドリリーはすぐになんでもわすれてしまうよ。

おとうさんとおかあさんのこともわすれたから  
いえにかえれなくなつたよ。

わたしはかなしいきもちになつたよ。

でもさこいごはおとうさんとおかあさんに  
あえたからよかつたよ。

おひるごはんはうどんをたべたよ。

ちはるおねえちゃんかレタスをわたしのおさくら  
おくからけんかしたよ。

らいしゅうもこたいらにいくよ。

はハからはじまることはさがし

# 5. 助詞を意識して会話しよう！

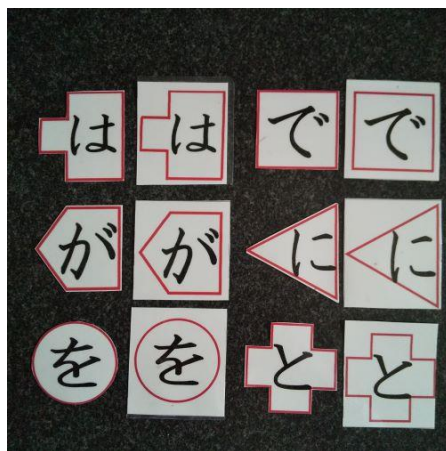
## 助詞カードを作ろう！

目標

助詞「は、が、を、に、で、と」の使い方を知る

課題

助詞カードを使って文を作ろう



「だるまさんがプツ」



「リボンが可愛い」

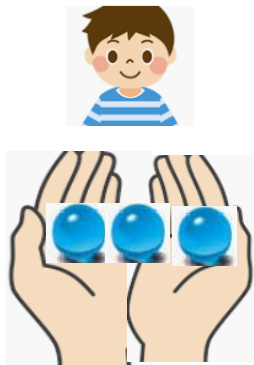


「ポストが赤い」



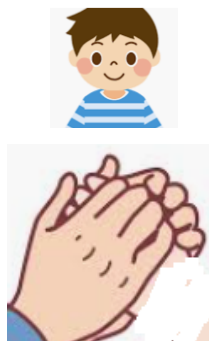
# 6. 数量概念を育てよう!

①



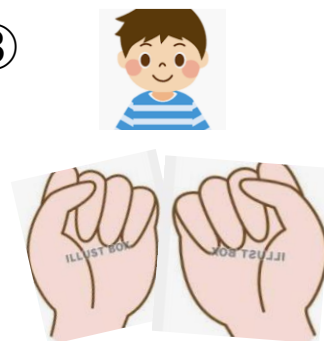
ビー玉を見せ、いくつあるか数えさえる。

②



ビー玉を手の中で振って左右に分ける。

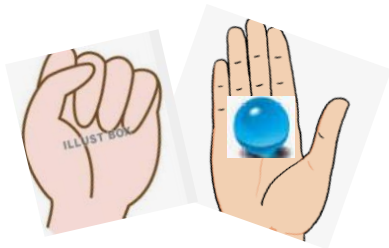
③



どちらにあるか尋ねる。

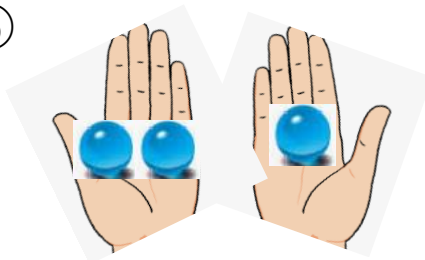
\* 子どものもっている数量概念に合わせて数を決めるが、3歳以降なら「3」から。

④



子どもが言ったほうを開き「あれ? 足りないね。こっちにあるよ。いくつあるかな?」と尋ねる。

⑤



もう一方を開く。あたっていたら子どもの勝ち。子どもに積木を1個渡す。ビー玉を1個増やし、同じように繰り返す。



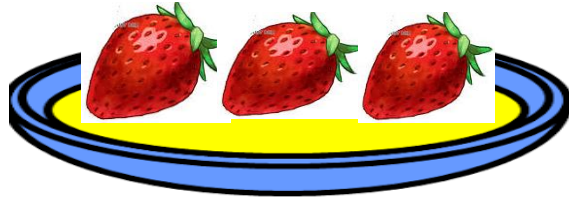
(対戦方式)



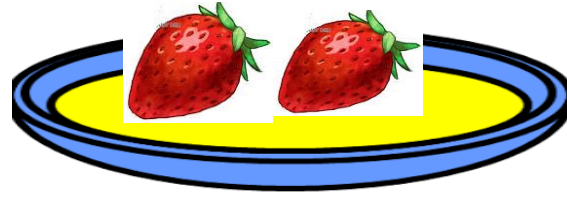
積木は3個ずつ持つ。全部なくなったら負け。

# 数量の概念を育てるには？

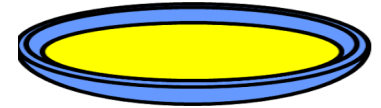
2歳代・対立概念の理解、「2」の理解



多い



少ない



ない(ゼロ)

⇒「**どっち**が多い?」「**多い方**をどうぞ」

3歳代・「3」の理解⇒3までの合成・分解

おやつなどの場面でやりとりする



⇒「〇個あげるよ」「〇個食べていいよ」「1個ずつ**分けて**ね」  
「**あと**〇個で3個かな?」「〇個**足りない**ね」「2個食べたから  
〇個**残っている**ね」

# 「かず」に関わることばを使おう！

## 小1算数の学習事項・順序と出現語彙

① 10までの数(集合数)

② 何番目(順序数)

③ いくつといくつ(数の分割)

いくつ

④ 足し算(合併)

あわせて

みんなで

ぜんぶで

⑤ 足し算(増加)

ふえる

くる

もらう

たす

⑥ 引き算(求残)

いく

へる

あげる

のこり

⑦ 引き算(求差)

ちがい

どちら

すくない

おおい

そこに

と

より

から

では

割引あるよ!



動詞を学ぶワークブック  
2,200円(解説本・CD付)



(ホームページ)

メールアドレス  
nanchosien@yahoo.co.jp



語彙の豊かさを育てるためのワークブック 1, 400円(解説本・CD付)



(900円)



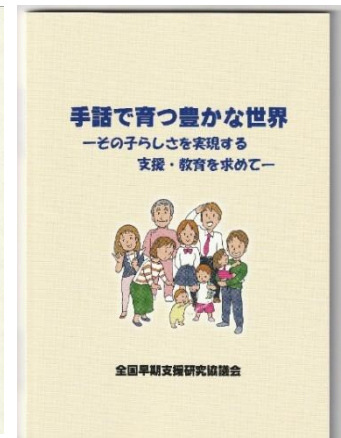
(1000円)



(700円)



(1000円)



(900円)

END